

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	アネックス京都三和企業誘致対策事業						事業コード	320302			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進					施策コード	811			
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	196	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	-		R5現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	企業誘致の促進と既存企業の定着による雇用創出・若者定住等を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。										
対象者	アネックス京都三和立地企業及び接触企業				対象者数	343		単位あたりコスト	20.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・企業展でのアネックス京都三和の団地PR ・アネックス京都三和立地企業に対する、水道使用料に係る補助金の交付 ・企業アンケート実施 ・アネックス連携室の運営 ※令和5年度より企業誘致対策一般管理事業(320303)に統合										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	1,099	京都北部中核工業団地立地企業用水使用補助金、京都北部中核工業団地立地企業用水経過的奨励補助金								
	報償費	29	アネックス京都三和立地記念品								
	旅費	367	アネックス京都三和立地に係る企業訪問など								
	需用費	60	電気料								
	使用料及び賃借料	62	高速道路通行料								

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,516	2,970	0				
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	2,516	2,970	0	0				
予算財源内訳	① 一般財源	336	0	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	2,180	2,970	0				
決算情報	① 流充用額	△ 849	0					
	② 配当予算	1,667	2,970					
	③ 執行額	1,589	1,617					
	④ 執行率	95.3%	54.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.41 / 0.35	0.53 / 0.50	/				
	② 概算人件費	4,155	5,490					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,744	7,107						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	立地企業等従業員住宅使用料	種類	商工使用料	実績金額	592	10	頁
		電柱等占用料		商工使用料	76	10		

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		アネックス京都三和分譲区画数	区画	1 / 2	1 / 1	2 / 1	/ 1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	直接接合企業数	件	396 / 300	247 / 300	343 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		5.4	6.4	4.7		
	単位あたりコスト		/	1 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>長田野工業団地アネックス京都三和については、5区画が未分譲となっている。工業団地への企業誘致は地域経済の活性化につながる重要な事業であり、行政が先頭に立って誘致することで、企業の安心感も高い。</p> <p>企業の投資は、いつ起こるか予想できるものではないため、分譲地を保有している旨を伝えておくことで、投資先となる可能性があるため、多くの企業と接触することができる企業展への参加は必要であった。</p> <p>また、アネックス京都三和においては、工業用水の供給が無いため、一定期間企業に水道使用料の一部を補助する制度は、投資を促すためにも必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>立地先として検討いただく企業を増やすためにも、企業展への参加は、一度に多くの企業と接触することができるため効率的である。なお、近年、用地取得が活発とみられる物流系の企業展や、府内での誘致を考えやすいと思われる京都府の企業が集う企業展に参加した。</p> <p>また、一度立地に興味を示された企業については、継続的に接触をとっている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>知名度を向上させるため、多くの企業へアプローチをすることで、工業団地をPRすることができた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>全27区画のうち、残り5区画であり、徐々に立地が進んでいる。                      企業展への参加、市HPや金融機関のプラットフォームを活用した周知活動により区画への問合せがある。                      立地が進み、操業企業が増加する中で、企業に寄り添った支援が必要である。</p>		
改善策	<p>広い周知による一定の効果があつたうえで、残り区画の諸条件に合う企業とへの重点的な接触が必要。                      企業に寄り添った支援を行うため、三和荘に設置されたアネックス連携室について、三和荘の本格稼働に合わせて機能を整備する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	企業交流促進事業						事業コード	320104			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進					施策コード	811			
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	196	頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	長田野工業団地立地企業と工業団地以外の企業の結びつき及び交流の促進、企業間の交流、情報交換、受発注の醸成等を目的として実施される福知山企業交流会の活動を支援し、市内企業同士の受発注の活性化等を図ることにより企業活動の活性化、地域の発展につなげる。										
対象者	会員企業	対象者数	103	単位あたりコスト	8.8						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	福知山企業交流会の活動に補助金を交付し、研修会や受発注懇談会等を通して企業間交流を図る。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	270	福知山市企業交流会の活動に対する補助金								

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	540	540	540					
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	540	540	540	0					
予算財源内訳	① 一般財源	540	540	540					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 540	0						
	② 配当予算	0	540						
	③ 執行額	0	270						
	④ 執行率	0.0%	50.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.08 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	0	640						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	910							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	受発注(市内発注/長田野総発注)	%	19 / 25	16 / 25	18 / 25	/ 25	25
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	受発注懇談会、視察等の参加者数	人	40 / 110	0 / 106	34 / 100	/ 103	140
	単位あたりコスト		13.5		7.9		
	受発注懇談会、視察等の開催	回	1 / 2	0 / 2	1 / 2	/ 2	企業交流促進事業
単位あたりコスト		540.0		270.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	受発注懇談会や研修会など、市内事業者と長田野工業団地企業が定期的に情報交換を行う場を創出することで両者の信頼構築・受発注率向上が期待される。会員企業のニーズや補助金のあり方について検討を続けながら今後も事業を継続する必要がある。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	活動内容を鑑みて随時補助金額の見直しを行っており、現状のコストは妥当。	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	受発注懇談会の開催による効果がどれほど受発注率に影響を与えているか確認が必要。(現在受発注率は低下)	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	コロナ禍においても対応が緩和される中、主要事業である受発注懇談会が開催されるなど企業間の対面での交流などが再開。企業間のつながりにより今後の受発注率の影響への効果が期待される。 継続的に行われてきた企業同士の連携方法については検討が必要である。		
改善策	企業側のニーズとともに補助金の在り方については見直しをする必要がある。 交流会の活動が受発注率にどれほど寄与しているか継続確認が必要。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	企業向け従業員住宅一般管理事業						事業コード	320317			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進				施策コード	811				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	198	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市三和町立地等従業員住宅条例、福知山市三和町立地企業等従業員住宅条例施行規則、普通財産フォレストサイドみわ(東棟)の管理及び運営に関する取扱要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	長田野工業団地アネックス京都三和周辺に団地内企業向の従業員住宅を整備することにより、団地企業の労働力確保の一助とするとともに、当該工業団地のセーリングポイントの1つとして企業誘致の促進を図る。										
対象者	アネックス京都三和立地企業従業員				対象者数	300		単位あたりコスト	11.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	公益社団法人シルバー人材センター										
事業概要 (箇条書き)	・ヴィラー・ジュミわ入退去管理 ・フォレストサイドみわ入退去管理 ・設備等環境整備										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	需用費	308	施設修繕料、消耗品費、電気料								
	役務費	142	その他損害保険料、法定点検手数料、その他手数料								
	委託料	32	除草・剪定業務								

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,325	1,573	1,542						
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0							
小計(①~③)	1,325	1,573	1,542	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	1,325	1,573	1,542						
決算情報	① 流充用額	△ 194	△ 312							
	② 配当予算	1,131	1,261							
	③ 執行額	962	482							
	④ 執行率	85.1%	38.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.16 / 0.30	0.23 / 0.50	/	/					
	② 概算人件費	2,030	3,090							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,992	3,572								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	フォレストサイドみわ貸付収入		種類	財産貸付収入	実績金額	482	決算附属資料	34	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	入居戸数	戸	15 / 26	15 / 26	14 / 26	/ 26	26
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	直接接触企業数	件	396 / 300	247 / 300	343 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		1.6	3.9	1.4		
	単位あたりコスト		/	5 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>アネックス京都三和の近隣には賃貸住宅が少なく、従業員及び企業にとって必要性は高い。住宅設備の修繕、共用部など必要な管理を実施。</p>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>従業員住宅管理は、業務量とコストを勘案し、職員が直接実施するものと業者に委託するものに分け、適切に管理している。 アネックス京都三和立地企業及び従業員に対しては、家賃の減額措置を図り、企業立地の優遇性と立地促進を図っている。 単身用従業員住宅(ヴィラージュみわ)は入居者個人との契約に限定されていたが、空き室を有効利用するため、企業が研修期間中や操業立上げ時の短期的な従業員の利用などのために契約などが出来るよう条例改正(令和4年4月施行)を行った。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>26室のうち約5割の14室に入居と有効に活用、立地企業従業員の住環境の向上に寄与している。 適切に管理されている住宅があることで、誘致活動における魅力の一つになっている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>企業誘致のインセンティブとして建設された住宅であり、工業団地周辺での住居の確保を担うことができている。 企業誘致の際には、魅力の一つとして紹介しているため、立地当初より継続的に入居されている方が多い。 令和4年度の条例改正により企業への貸し出しが可能となったことを企業へ情報発信したことで問い合わせは前年度よりも増加した。 企業における新規採用者の住居の選択肢の一つとなるよう継続的に情報発信する必要がある。 令和4年度は施設修繕をはじめとした維持管理に係る費用の支出が抑えられたため、低執行率となっている。 条例改正の件も含め、従業員住宅の入居戸数が増加するよう従業員住宅の周知を継続実施していく必要がある。</p>		
改善策	<p>従業員の採用にあたり企業からも提案ができるよう、部屋の空き状況なども含めて定期的な周知を実施する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	企業誘致促進特別対策事業						事業コード	320304			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進					施策コード	811			
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	198	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	長田野工業団地地利活用増進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業果たす役割)	長田野工業団地アネックス京都三和への企業誘致の促進と、長田野工業団地をはじめとする市内既存企業の奨励措置など設備投資の推進に向けた支援によって、企業の域内定着・雇用創出・若者定住等を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。										
対象者	長田野工業団地及びアネックス京都三和立地企業				対象者数	57		単位あたりコスト	1,435.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	○工場等の建設等に係る奨励金交付 ・工場等新設奨励金 2,000円/㎡(工場延床面積) ・雇用奨励金 10万円/人(市外企業がアネックスへ進出した際は5万円/人を加算) (市外企業が進出した際は、U・Iターン者の雇用にかかり、別途10万円/人を加算) ・工場等建替奨励金 1,000円/㎡(除却工場面積)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	76,343	福知山市企業誘致促進及び操業支援奨励金(3件)14,080								
			操業支援事業費(3件)61,683								
			京都北部中核工業団地企業誘致推進協議会、京都市市町村企業誘致推進連絡会議分担金580								

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	53,980	121,180	111,692					
	② 補正予算	84,649	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	138,629	121,180	111,692	0					
予算財源内訳	① 一般財源	102,973	580	580					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	35,656	120,600	111,112					
決算情報	① 流充用額	15,000	△ 25,723						
	② 配当予算	153,629	95,457						
	③ 執行額	153,628	76,343						
	④ 執行率	100.0%	80.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・非常勤職員)	0.46 / 0.60	0.53 / 0.50	/	/				
	② 概算人件費	5,180	5,490						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	158,808	81,833							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	企業誘致促進特別対策事業基金繰入(企業誘致促進及び工場等操業支援基金)		種類	基金繰入金	実績金額	75,763	40	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	奨励金対象雇用者数	人	6 / 50	37 / 50	55 / 50	/ 50	50
アネックス京都三和分譲区画数	区画	1 / 2	1 / 1	2 / 1	/ 1	累計27区画	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	奨励金交付企業	企業	4 / 7	8 / 7	6 / 7	/ 7	7
	単位あたりコスト		865.8	19203.5	12723.8		
	直接接触企業数	件	396 / 300	247 / 300	343 / 300	/ 300	300
単位あたりコスト		8.7	622.0	222.6			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>企業の工場建設や設備更新に対する支援により、工業団地への投資を刺激し、地域経済の活性化や雇用創出に大きな役割を果たしている。 令和4年度においては6社に対して、工場設置にかかる奨励措置を実施。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>アネックス京都三和の新規立地企業だけでなく、長田野工業団地立地企業においても、大規模な設備投資が進行。また、今後においても複数件、計画されている。本事業は企業の投資に対して支援するもので、事業費が上がるほど本市へのプラスの効果が高くなる。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>企業誘致促進については、府及び市の制度により、企業の投資活動を促すことができている。特に、立地後の増設の場合は、要件が緩和されているため効果的である。支援金においては、増加した雇用者数を算定の基礎数字の一つとなっており、企業の投資による地域活性化、雇用創出を促す結果につながっている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>京都府の補助金に加え市の補助制度を設けていることは、企業の新規立地や設備を促すことに効果的である。特に市内既存企業の場合においては、補助要件が低くなることから増設を考える工場にとって利用しやすい制度となっている。</p>		
改善策	<p>奨励措置については市内全域の工場が対象であるため、市HPでの広報等でその活用を促していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	企業誘致対策一般管理事業						事業コード	320303			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進					施策コード	811			
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	196・198	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	長田野工業団地地利活用増進計画			R5現在の状況	他事業を統合	
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	長田野工業団地及びアネックス京都三和への操業支援並びに誘致活動を推進する。										
対象者	長田野工業団地及びアネックス京都三和立地企業				対象者数	57		単位あたりコスト	104.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	公益社団法人シルバー人材センター										
事業概要 (箇条書き)	・長田野工業団地立地企業と周辺住民の交流及び相互理解に関する支援 ・アネックス京都三和の操業環境を整備するための除草業務等 ・企業誘致や支援に係る企業訪問 ※令和5年度よりアネックス京都三和企業誘致対策事業(320302)を統合										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	旅費	42	企業訪問、京都市府市町村企業誘致連絡会議総会、京都舞鶴港物流ターミナル整備事業起工式典								
	委託料	1,004	京都北部中核工業団地除草業務								
	需用費	100	長田野工業団地看板修繕料、標識ロープ、鍵								
	役務費	157	郵送料、通信・電話料、企業交流プラザ看板撤去手数料、建物総合損害共済にかかる共済基金分担金								
	備品購入費	363	企業交流プラザAED購入費								

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,675	2,042	5,372				
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	1,675	2,042	5,372	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	1,374	1,316				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,675	668	4,056				
決算情報	① 流充用額	△ 470	△ 300					
	② 配当予算	1,205	1,742					
	③ 執行額	1,149	1,666					
	④ 執行率	95.4%	95.6%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.31 / 0.40	0.38 / 0.50	/				
	② 概算人件費	3,480	4,290					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,629	5,956						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱等占用料	種類	商工使用料	実績金額	3	10	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	アネックス京都三和分譲区画数	区画	1 / 2	1 / 1	2 / 1	/ 1	累計27区画
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	直接接企業数	件	396 / 300	247 / 300	343 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		2.6	4.7	4.9		
	単位あたりコスト		/	9 /	/	/	企業誘致対策一般管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>福知山市の経済振興に寄与する長田野工業団地やアネックス京都三和の操業環境を整備することは、企業のさらなる投資を促進するためにも必要である。 長田野工業団地は本市の税収の20%を占め、市内居住者5,000人以上の就労の場であることから、優先度は非常に高い。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>アネックス京都三和における環境整備としてコスト面を考慮し、繁茂具合を確認しつつ、年1回除草作業を実施している。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>企業が投資された場合など、企業訪問を実施し、企業のニーズ把握や継続的な福知山市での企業活動の継続及び企業誘致を推進している。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>地道ではあるが、アネックス京都三和の工業団地PRが確実に誘致につながっている。 理事者の本社訪問の実施により、着実に投資につながっている。 現在、アネックス京都三和では、15社の企業進出と22区画の土地譲渡契約が締結され、北近畿の雇用の創出と地域経済の活性化を担っている。</p>		
改善策	<p>広い周知による一定の効果があつたうえで、残り区画の諸条件に合う企業とへの重点的な接触が必要。 企業に寄り添った支援を行うため、三和荘に設置されたアネックス連携室について、三和荘の本格稼働に合わせて機能を整備する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	長田野工業団地維持管理事業					事業コード	120207					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興					
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進				施策コード	811					
事業担当	所属	3502000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代					
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費		会計	01 一般会計	決算附属資料	204	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	-			R5現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	長田野工業団地利活用増進事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	長田野工業団地内の道路の維持管理を行うことにより、安心・安全な道路環境にする。											
対象者	全市民				対象者数	76,146		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等											
事業概要 (箇条書き)	・長田野工業団地内の市道の維持管理を行う。(令和5年度から道路維持管理事業に統合)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	2,890		街路灯電気代、長田野工業団地本線舗装修繕ほか								
	工事請負費	623		長田野工業団地4号線段差解消工事、長田野工業団地本線転落防止柵設置工事ほか								

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,900		5,080		0					
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0							
	次年度繰越	0		0							
小計(①~③)	5,900		5,080		0		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0					
	⑤ その他特財	5,900		5,080		0					
決算情報	① 流充用額	△ 1,141		△ 1,477							
	② 配当予算	4,759		3,603							
	③ 執行額	4,759		3,513							
	④ 執行率	100.0%		97.5%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.15	/	0.00	0.15	/	0.00	/	/		
	② 概算人件費	1,200		1,200							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,959		4,713								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		3,513		12		
						実績金額		決算附属資料		頁	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
		-		/	/	/	/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	工事・修繕	箇所	13	/	10	9	/	10	8	/	10	-
		単位あたりコスト	624.4		528.8		439.1					
	業務(剪定・除草)	箇所	3	/	5	3	/	5	0	/	5	-
	単位あたりコスト	2705.7		1586.3								

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR4年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長田野工業団地内において、道路や付属施設の老朽化が著しくなっており修繕要望も多く、事業を継続して実施していく必要性は大きい。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長田野工業団地を適正に維持管理していく上で必要最低限度の経費であり、業者への委託の他、可能な範囲で直営作業も実施することでコスト削減に努めている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長田野工業団地内の企業及び道路利用者の安全性・利便性の維持及び向上において、本事業の実施は有効である。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	道路パトロール、長田野工業センターなどからの連絡、通報などにより、道路施設の損傷、不具合について迅速に調査し修繕を実施している。街路樹の剪定、除草などについても適正に維持管理することで道路環境の保全を図ることができている。 維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】 長田野工業団地内において、老朽化が著しい道路構造物が増えつつある中で、要望も多く全てに対応できていないことが課題である。 長田野工業団地内街路樹の巨木化と老朽化が進行しており、道路や付属施設の老朽化も年々著しくなっていることから、維持管理に要する費用は増加傾向になると予想される。		
改善策	限られた財源の中でより効率的に執行を行なっていくよう現状把握に努めながら、把握した危険箇所等において修繕・改修の優先度をつけながら適正に維持管理していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	長田野工業団地地利活用増進事業(道路環境整備)						事業コード	120232			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進				施策コード	811				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算附属資料	204	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	長田野工業団地地利活用増進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	長田野工業団地維持管理事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	長田野工業団地内における街路樹について、繁茂により視距不良や横断幅員の減少及び根などによる路面の凹凸等が課題となっているため、長田野工業団地地利活用増進計画に基づき、街路樹伐採等を行い団地内の交通環境の改善を図る。										
対象者	全市民				対象者数	76,146		単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等										
事業概要 (箇条書き)	・団地内企業等の意見を聞きながら計画的に道路環境整備を実施していく。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	委託料	7,020			市ノ谷南インター線ほか除草せん定伐採業務、長田野工業団地歩行者道線除草せん定伐採業務 ほか						
	工事請負費	25,786			長田野工業団地本線ほか植樹樹撤去工事、市ノ谷線植樹樹撤去工事						

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	40,000	33,900	32,870					
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0						
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	40,000	33,900	32,870	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	40,000	33,900	32,870					
決算情報	① 流充用額	△ 5,264	△ 469						
	② 配当予算	34,736	33,431						
	③ 執行額	34,736	32,806						
	④ 執行率	100.0%	98.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.32 / 0.00	0.28 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	2,560	2,240						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	37,296	35,046							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	長田野工業団地公園緑地等事業基金繰入金(長田野工業団地公園緑地等事業基金)	種類	基金繰入金	実績金額	32,806	決算附属資料	40	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	街路樹伐採本数	本	386 / 400	909 / 620	- / -	/ -	1229
街路灯柱更新数	箇所	- / -	- / -	0 / 16	/ 16	16	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	街路樹伐採本数	本	386 / 400	909 / 620	- / -	/ -	1229
	単位あたりコスト		60.4	38.2			
	植樹樹撤去数	箇所	- / -	13 / -	711 / 990	890	890
単位あたりコスト		0.0	0.0	46.1			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR4年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野工業団地内における交通安全確保のため、必要な事業である。</li> <li>これまでに計画に基づいて伐採された街路樹の植樹樹撤去を計画的に実施することで、歩行者等の安全性・利便性を向上させた。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場の企業等の意見を聴くことで、必要なところから効率的に実施できている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路環境を整備することで利用者の安心・安全を確保するほか、工業団地のイメージアップにも繋がるものであり、有効である。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	計画的に管理することで道路環境の向上を図ることができている。 団地内街路樹の巨木化と老朽化が進行していることに加え、道路や付属施設の老朽化も年々著しくなっている。		
改善策	道路上事故等のおそれがある老木や損傷施設について計画的に伐採、撤去等を行い、危険を未然に防ぐ。 財源が限られているため、効率的な予算執行に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	長田野工業団地土地利用増進事業(緑地等環境整備)						事業コード	530259			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進				施策コード	811				
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	212	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	長田野工業団地土地利用増進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	都市公園法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	既設公園管理事業、都市公園等環境整備事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	長田野工業団地土地利用増進計画に基づき、樹木伐採を計画的に進め、企業の操業環境を確保及び市民が工業団地内の散策を安心安全に行えることを目的とする。										
対象者	市民	対象者数	77,000		単位あたりコスト	0.2					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	伊東木材㈱										
事業概要 (箇条書き)	長田野工業団地緩衝緑地等の樹木伐採及び剪定、伐採材処分										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	委託料	9,591	緩衝緑地等樹木伐採業務								
	積立金	7,516	長田野工業団地公園緑地等事業基金積立金								

## III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	17,476	17,476	16,476				
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	17,476	17,476	16,476	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	17,476	17,476	16,476				
決算情報	① 流充用額	△ 329	0					
	② 配当予算	17,147	17,476					
	③ 執行額	17,147	17,107					
	④ 執行率	100.0%	97.9%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.24 / 0.00	0.10 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	1,920	800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	19,067	17,907						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	都市公園占用料	種類	土木使用料	実績金額	7,516	12	
		長田野工業団地土地利用増進事業(緑地等環境整備)基金繰入(長田野工業団地公園緑地等事業基金)		基金繰入金		9,590	40	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	伐採延長	m	1170 / 1030	1745 / 1030	2090 / 1030	/ 1030	10300
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	伐採件数	件	6 / 6	15 / 6	10 / 6	/ 6	60
	単位あたりコスト		14842.5	1143.1	1710.7		
	単位あたりコスト		/	15 /	/		

長田野工業団地土地利用増進事業(緑地等環境整備)

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巨大化した樹木は、工場内に進入し、企業操業の支障となるため、適切な剪定や伐採等の維持管理は、良好な職場環境を整えるために必要である。</li> <li>市の計画だけでなく、企業からの要望を受けて、現地調査を実施し、その緊急度に応じて、優先順位を決めて事業を実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工区ごとに取りまとめ発注することで、工期短縮や、スケールメリットによるコスト削減を図っている。</li> <li>指名競争入札による価格競争によりコスト削減を図っている。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹勢弱ったの樹木や、大きくなりすぎた樹木を適切に処理することで、台風や豪雨等の影響により、倒木等による被害を回避できる。</li> <li>令和3年度においては、計画範囲の伐採だけでなく、企業等からの通報を受けての枯損木等の緊急的な伐採等も実施している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模な樹木伐採・剪定が必要な緑地は、増加傾向にある。</li> <li>計画的な伐採を進めてきているところではあるが、大規模な伐採・剪定等を実施すると、日当たりが改善されることから、今まで以上雑草が繁茂するため、その対策についても検討していく必要がある。</li> <li>大規模な伐採・剪定等事業を実施した場所についても、樹木は再び大きくなっていくことから、状況を確認しながら定期的な維持作業が必要である。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者や通行車両の支障となっているもの、企業の敷地内に侵入しているもの、倒木の恐れがあるものなど、緊急性や危険度を総合的に判断し、優先順位を決めて事業を進める必要がある。</li> <li>令和4年度においても、危険度や緊急性の高い緑地から優先的に事業を進める。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--